

# 専門分野 I 臨地実習

3 単位 (135 時間)

## <ねらい>

- 生活者としての人間を包括的に理解する。
- 対象の苦痛に寄り添い、そばにいることの意義を考える。
- 対象の未充足のニーズをあきらかにし、生活を整える援助を行う。
- 主要症状のメカニズムを踏まえ、症状緩和への援助を行う。
- 看護学生としての自覚・実習態度を身につける。

## <目的>

学んだ知識や方法を臨地で体験し、対象の理解および看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する。

## <目標>

1. 入院生活をしている対象の生活を整える援助を行う。
2. 看護過程を通して看護を実践するための基本的方法を習得する。
3. 看護者としての基本的態度を習得する。

## <構成>

教育内容	科 目	単位	時間数
基礎看護学	基礎看護学実習 I	1	45
	基礎看護学実習 II	2	90
合 計		3	135

## 基礎看護学実習Ⅰ 生活を整える援助

### 【目的】

健康に障害のある人の自ら充足できないニーズに対し、コミュニケーションを図りながら安全で安楽な自立に留意した生活を整える援助を行う。

### 【目標】

1. 対象の入院生活の状況を把握する。
2. 対象を理解するためのコミュニケーションがとれる。
3. 対象に必要な生活を整える援助を実施する。
4. 自己を振り返ることで自己の傾向を知り対象とのかかわりを考える。

## 基礎看護学実習Ⅱ 看護過程の展開

### 【目的】

看護過程の構造を理解し、看護を実践するための基礎的方法及び基本的態度を習得する。

### 【目標】

1. 対象を理解する。
2. 対象に適した看護計画を立案する。
3. 看護計画に基づいた援助を実践する。
4. 援助を目標に沿って評価・修正する。
5. 看護者として基本的態度をとる。